

第十二師團司令部編成職員表

師團長	中將	藤岡武雄	23
參謀長	大佐	工野貞臣	30
參謀	中佐	北島之等	39
副官	少佐	楠瀬真純	43
師團司令部附	中佐	原研介	38
參謀部教育部長	大尉	前川武義	
通信部長	中尉	河村盛夫	
情報部長	中尉	梅原保憲	
後方部長	少尉	鷲田稔	

0000  
0701





獸醫部

獸醫主任

獸醫中尉

獸醫少尉

古田 惠男

齊藤 幸雄

原田 徹

司令部勤務

參謀部中隊長 (独歩十支隊附) 少尉

増井 深 (独歩十支隊附) 少尉

別室部中隊長 (師團直轄隊附) 少尉

佐藤 健 (独歩十支隊附) 少尉

兵器部勤務 (独歩十支隊附) 中尉

( ) 少尉

( ) 少尉

吉野 慶三

鈴木 敬一

吉武 清

辰形 忠義

道 久恵

鈴木

和手 甚悦

0812  
0704

令 ( ) 少尉 飯田  
 經理部勤務(独歩平美隊付) 美計少尉 貫井靖男  
 令 ( ) 三軍管轄部付(連隊中尉) 須田秀旅  
 軍需部勤務(野戰病院付) 道中尉 南 昇  
 戦務部勤務(砲重隊付) 坂少尉 安本牧男

及三十三師團司令部新行動経過概要

那霸港上陸より仲間轉進ニ至ル状況(自八月廿一日)

敵潜水艦ノ横行頻繁ナル中ヲ海空軍ノ絶大ナル協同攻撃ヲ  
 下ニ全員無事八月廿三日沖繩本島那霸港ニ上陸師團戦斗  
 司令部ヲ直那覇市ニ開設  
 同日及翌日平可ニ入り上陸部隊下各隊ノ揚陸作業並ニ撤去

0313  
0705

備地へ入行指導ス

以下各部隊毎上陸當時ノ状況ヲ記述ス

ハ 参謀部

八月廿二日 那覇港ニ着港スルニ至ル迄ニ参謀部長上野大佐ハ美ニ春船

丸ニ隷下各部隊長ヲ集合セシメ上陸並ニ各隊警備地ニノ配当

整備地へノ前進ニ命今並ニ諸注意ニ関スル通牒ヲ下事セリ

八月廿三日 各主任参謀並ニ各隊將校ヲシテ現地偵察ヲ実施セシメ整備

概要ヲ立書ス

八月廿四日 及廿五日 後方主任参謀ヲシテ各隊ノ揚陸並ニ隊屋什物ノ前送

頭開放處理ニ任ジタリ

八月廿五日 那覇中ニ於テル戰鬥司令所ニ隷下各部隊長ヲ集合セシメ上陸

最初ノ部隊長會同ヲ実施ス

0014  
0706

入書 浦添村仲間ニ戦斗司令所ヲ設後方業務一部ヲ残置シ那覇市  
戦斗司令所ヲ閉鎖仲間ニ轉進シ爾後作戰準備ヲ指導セリ

副官部

管理班、兵力ヲ増強シ八月三日ヨリ司令部隊屋貨物揚  
陸前送ニ全力ヲ傾注處理ス

管理班

各部隊ヲ差込、兵力ヲ統一指揮シ揚陸作業並ニ隊屋貨物  
ノ前送處理ニ務ム

入書 那覇市戦斗司令所ヲ用致各部隊ノ指點給與ヲ實施ス

入書 師團司令所ヲ定地ニ浦添村仲間附近偵察別隊要図

等一、如ク配属ヲ實施ス

入書 那覇戦斗司令所ヲ閉鎖浦添村仲間附近ニ移駐ヲ完了ス

0815  
0707

4 衛兵隊

戰鬥司令所へ直接警戒並に傳頭其他之野積セ隊廢貨物  
監視ニ任シ殘余ノ兵力ハ揚陸又貨物前運送ヲ實施スル外監視  
哨實施ニ宿恩救捕ヲ準備ヲ援助ス

5 兵器部

隸下各部隊ヨリ差入ス兵力ヲ以テ作業隊ヲ編成シ師團兵器  
彈藥ノ揚陸並に前送ニ務ム

八月廿三日 浦添村伊祖兵器部ヲ開設シ兵器業務ヲ實施ス

6 經理部

隸下各部隊ヨリ差入兵力ヲ以テ經理勤務視ヲ増強シ師團糧  
秣資材ノ揚陸並に前送ニ務ム

八月廿三日 浦添村島山に經理部ヲ開設シ經理業務ヲ實施ス

0616  
0708



ノ軍醫部

ノ軍醫部 上陸より防疫給水班及び救護班を編成し、那覇港埠頭に上陸用

之ヲ用致ス

ノ軍醫部 傷し平五日に渉り、軍醫材料、場屋を前送し、務人浦添村仲間量

醫部ヲ用致シ業務ヲ開始ス

ノ防疫給水班

ノ軍醫部長ノ命ヲ受テ上陸用那覇港埠頭ニ救護班ヲ用致ス

ノ軍醫右救護班ヲ用致シ浦添村に渡テ之ヲ着座シ業務ヲ開始ス

ノ軍醫部

ノ軍醫部 那覇港に上陸シ、初員を以テ師團軍醫材料ヲ場屋ニ入付ニテ

浦添村仲間ニ着座シ業務ヲ開始ス

0017  
0709

仲岡戰鬥司令部所ニ於ケル状況 (自八月二十五日)

各部隊ヲ浦添村仲岡附近迄ニ前進シ戰鬥司令部所ヲ開設シ

沖繩本島中地ニ防衛並ニ作戰準備ヲ日夜実施ス

各部隊ノ状況左記ノ如シ

一 參謀部

各係參謀將校ヲシテ警備地ニ實地踏査ニ依リ綿密ニ偵

察ヲ以テ警備指導計畫ヲ立案スルノ外情報砲臺ニ必要ニ該砲

ヲシテ爾後作戰ノ為メ諸種ノ情况ヲ調査シ單ニ報告ノ外幕下

各隊ニ指示シ作戰準備ノ據トス

口九月初隊長會同ヲ實施シ作戰準備警備計畫作戰戰鬥

指導ヲナス

八十月教育主任者會同ヲ實施シ十月十五日入島初年兵教育

0818  
0710

方針並に取扱上ノ注意ヲ實施ス

三十日十日空襲作戦ニ参加作戦後ノ被害状況並に次期作戦ハノ

諸準備ヲ為ス

三十日及九師團取進ニ伴フ師團警備地ニ変更更ニ関シ部隊長

會同實施ス

十一月半ノ想定ニ基キハ師團演習ヲ實施ス

三十日根歩ニ三大隊全ニ三三三大隊ヲ前港ニ上陸指揮下ニ入ラシメ

之ヲ着目給養ニ関シ經理部ヨリテ指導スル

副官部

ハ師團副官業務ヲ實施スルノ外監視班ニ兵力ヲ増強シ邦内防

衛築城作事ヲ實施ス

三十日假裝馬ヲ以テ不足中ノ部附乗馬ヲ貸與シ之ヲ充足

0019

0711

管理現

1. 郡内ノ宿舎給與ヲ担任スノ外各郡現ヨリ差出ス兵力ヲ統指揮

シ防衛警戒ヲ実施ス

2. 各郡現警戒陣地配備状況別紙要図ヲニノ如シ

3. 保管庫十箇所増設緊急連絡網ヲ設テ実施ス

兵器部

1. 伊祖ニ位置シ兵器勤務隊ヲ指揮シ逐次補給セラル兵器彈藥

ノ處理並ニ補給計画ニ基キ轄下各郡隊ニ補給ヲ実施ス

経理部

1. 嵩山ニ位置シ師團ノ給與補給ヲ実施スノ外別紙要図ヲ三ノ

如ク野戦倉庫ヲ周設シ糧秣ノ集積並ニ補給ヲ実施ス

0620  
0712

口現地自活院ヲ歸成シ磨山、我前ニ自活農園ヲ開設爾後、自活  
ヲ準備ス

6. 皇軍部

浦添村仲間ニ位置シ師團衛生隊員ヲ檢閲ヲ運用スルノ外、越地ニ作戦準備  
トシテ、沖繩中島口結核状況調査対策ヲ実施ス

衛生隊員トシテ中島口之癩患者ノ收容ヲ実施ス

7. 防疫給水院

浦添村所設茶ニ位置シ師團警備地内ノ水源調査ヲ実施シ

戦斗間ノ給水調査諸準備ヲ計画実施ス

8. 救護部

浦添村仲間ニ位置シ師團救護業務ヲ理ス

四十月第九師團ヨリ保管機夜長二十頭ヲ隷下各歩兵部隊ニ

0821  
0713

動用、予際、各保管職、獲了了ス

十百九師團編成、東編改、復師、及、地方島、徴養、是

施ス

首里戰鬥司令所開設、戰鬥開始迄(自十九年十月至二十一年三月)

十百九師團編成、俾、師團警備地、之、知念、半島、及、那覇、地、之

ヲ、合、之、至、戰鬥司令所、首里、之、移、駐、之、録、下、各、部隊、之、作、戰、準、備

ヲ、指、導、ス、各、部隊、之、状、況、左、如、シ

ノ、参、謀、部

ノ、新、警、備、地、之、ノ、偵、察、並、之、之、基、ヲ、新、警、備、ノ、指、導、方、針、之、案

警、備、移、動、ヲ、指、導、ス

口、十、百、九、師、團、ヲ、警、備、資、材、ヲ、継、承、ス

0622

0714

八丁部隊下各部隊長ヲ集セシメ新警備地ニシテ継承ニ関スル作戰會  
同ヲ實施ス

本着九師團ノ轉進完了ニ伴ヒテ戰鬥司令所ヲ首里市ニ移轉シ  
得ル如ク逐次準備ヲ進メ一日其ノ移轉ヲ完了セリ

此種情況ヲ考慮シテ防衛施設ノ推進ヲ期スル爲メ警備地ニ對シニ月防  
衛五集ヲ實施ス

八月一日第三團現地初年兵八連又

之別室部

八月五日陸軍省ニ留守部隊ノ編成ニ伴ヒテ留守名簿ノ作製・庶務係ノ  
外留守名簿係ヲ増員・隷下部隊ノ留守名簿完成ト共ニ係ヲ  
フクシテ陸軍省ニ提出シ留守名簿ノ編成ノ研究ヲ行合セシム

八月十日ニ於テ既設築城諸施設ヲ歩兵第六十五旅團司令官ノ指揮

0823  
0715

シ首尾市上テアノ九師團ヲ一隊或既設設備並ニ師團司令の役  
方概用ヲ継承シ之ヲ轉移シ能ク努力シ一月中旬移轉ヲ完了セリ  
八管理現況兵力ヲ増強シ第九師團ヨリ継承セル築城施設ヲ補備  
増強シ努力

上管現況

一師團司令部築城ノ為ニ兵一小隊ノ配属ヲ受テ且ツ各部隊ヨリ  
是ニ夫ニ兵力ヲ統一指揮シ築城設備ノ充テニ専心ス

第一期對防空ヲ主トシ司令部ノ要員ヲ待機施設ノ充テヲ首尾  
高十(首尾市儀保町)附近ニ三月二旬迄充テス

第二期上陸部隊ノ對シ戰鬥ヲ予期シ首尾市赤田町ニ第九師團  
下継承施設ヲ補備増強充テテ急テ主トシテ工兵小隊ヲ以テ  
口下島嶼守備ノ特性ニ鑑ミ現地自活ニ徹スベク司令部自派討區

0824

0716



之業ノ首里中石嶺ニ約三町歩ノ自灌農園ヲ開設シ仲而  
 之於此農場施設ハ步兵第百十三旅團司令官部ニ移讓ス  
 八十年二月以此ノ進展ニ伴ヒ爾後補給品ニ依リ給兵不能ナル状  
 況ニ鑑ミ司令官部ヨリ給兵非常對策要領ヲ立案シ之ヲ速時斷行  
 ニ請給養ノ案請ヲ計ル  
 二首里移轉後ノ各郡現ノ配指状況別紙要圖及口ノ如シ  
 以兵基部  
 一、十月ノ警備地之一部吏吏ニ伴ヒ諸見電譯案集積所ヲ閉鎖シ  
 為及郡大邑村高里塚ノ彈藥集積所ヲ開設シ主トシテ步兵第百十三  
 旅團ニ對シ補給ヲ實施ス  
 二、三十年一月嘉敷ニシテ兵基部ノ閉鎖シ首里中赤田所ニ開設ス  
 三、自初年修理所ヲ同所ニ新設ス

0717 ~~9939~~  
9825

八三年一月知念半島地之なる有字七旅團整備地之ヲ独逸區敵團  
ニ移讓シテ前地之ニ移轉スルニ及ビ配備ノ変更ヲ行ヒ大里村等處  
ニ集積シテ之ヲ名彈藥ヲ首里用ニシテ移送集積ス  
ニ首上旬ヨリ内地補給品意ノ如クナラサル為之レガ対策トシテ現  
地所在物資ヲ以テ兵兵器具ヲ創作ス  
射撃車用急造爆雷、英火具、手榴彈等製作ス

5. 経理部

1. 十月中旬當山ニテ経理部ヲ閉鎖シ首里市石嶺ニ移轉シ業務  
ヲ開始ス

2. 野戦倉庫ヲ左ノ如ク整備ス

A. 諸見里 田ノ西尾野等處(浦中村)等ニテ  
6. 野戦倉庫ニ對シテ補給業務

ニ任ズ

0326  
0718



神將帥軍官皆命を以て死す

口致火ノ準備之ニ初動ハ軍旗作業ノ急切在之ノ一ノ如シニ新  
敵後馬ノ飼養管死ノ急更ニ伴ニ歩兵大隊ノ馬車不振ノ状況ニ  
之方馬車指導將校ヲ由步兵旅團ニ各一名騎重隊ニ以テ遣馬車  
ノ善及ニ當ラズルノ外原田數醫初見習士官ヲ惣兵隊ノ下由師旅  
團ニ派遣シ馬車衛士ヲ指導セシメタリ

ノ防疫給水状

十月中旬新ニ指揮下ニ入りタル惣兵隊ニ三大隊急性熱性疾  
患多量ニハシ名中七八名ノ各作戦行動ニ重大ナル支障ヲ来シタリ  
以テ之ガ防疫ノ為ニ主カテ那覇市北方半島ニ移駐シ防疫給水ヲ  
実施スル大ノ成果ヲ治メ昭和三年十月業務ヲ閉鎖シ首里市赤田町ニ  
移轉セリ

0720 0028

戰鬥開始時より首里戰鬥司令部今所於之状況 (首里三首)

嘉平年三月新師團長藤田中将着任セリ隷下警備地之略

決定シテ以テ鋭意作戦準備ニ邁進シアリタル所三月三首敵

侵攻を所トシ各部隊毎ニ各々責務ニ従ヒ力戦奮斗セリ

參謀部

小首新師團長着任隷下部隊ヲ初度巡視ス

口首新警備地ニ對シテ作戦指導等團隷下指揮下各部隊長會

同シ美施ニ作戦ニ關シ相互連絡等ヲ實施ス

八首三首有力ニ機動部隊ヲ伴フ敵航空部隊ノ攻面ヲ受ルニ至リ

隷下各部隊對シテ中斷戰備ヲ下今ス

二直三首是等支隊(近師)部隊地入り隷下指揮下各部隊戰鬥ヲ指

揮スルハ敵機動部隊ノ上陸ヲ二期ノ首里市赤田町陣地ニ移駐

0721 6620

準備の敵空襲下ニ実施ス

の首首首敵機動部隊ハ中野田海面ニ出現上陸ノ企図アリカニテ

モノ知ラズ以テ予ハ準備ニシテ知ラズ首首首赤田町ノ平陣地ニ移轉

ヲ実施シテ首首首ニ見テ爾後赤田町ニ於テ戦斗ヲ指揮ス

ハ赤田陣地ハ棲息施設未完カニ為テ見テ努力カスルノ外陣地補強

ヲ晝夜兼行実施ス

ハ四日午未章ハ中野田島手前正而ニ上陸セリトテ既定作戰指

導方針ニ基テ作戰ヲ指導ス

テ四日ハ敵ハ普天向ノ隊ニテ予ハ我ガ歩兵隊ハ十二旅團正而ニテ攻

撃ニ所願セリトテ即團ハ反攻ヲ企図シ攻撃ヲ準備シテ是革命ニ基テ

此ヲ中止ス

リ司令部首首復赤田陣地ニ移轉シテ即ヲ担任スベク各部隊別

0000

0722

御要図美シノ如ク陣地構築ヲ晝夜専念ス

又四月中旬陽勢ニ敵砲爆撃ハ我カ通信機網切斷ナレ運送意

知ララス独歩美シノ如ク旅團正西ノ戦況又利ヲ我カ爲補瀨參謀

派遣シ直接戦斗ヲ指導ス

此音初旬克ノ力戦奮斗シテ我カ歩兵オシ十三旅團正西ニ陽勢

ニ敵ハ遂ニ之ヲ呑食ス所トナリ歩兵オシ十三旅團司令即チ首尾

中平良ク後退戦線ヲ集約シ首尾中由復命ノ即チ担任

アリ陣地ヲ独歩オシ十三大隊積積シ師團ハ別隊要図オシノ如ク

直接戦斗ヲ爲陣地ヲ戦斗司令所洞窟附近ニ構築シ將兵志

氣益々旺テリ

不意三月四日戦況愈々不利トナリ軍令ニ基キ師團ハ西瓦部ニ成

陣地ヲ築キ各陣地偵察ヲ請準備、各補瀨參謀又配属中、自中前

0691

0723

ノ領事將校ノ子増子就一ノ隊並隊一隊ヲ附シ先遣ス各瓦部  
嘉敷ニ於テ權祀射撃ノ直擊陣ヲ爲シ御酒參謀又甲大所江懸テ  
ル戦死ヲ承テ

ワ五ヶ年ニシテ師團ハ革命ニ基テ首尾ニ配備ヲ齊シ山城由ニ轉送ス  
之別官部

ノ昭和五年ニテ新師團長兼團中將着任同今ノ各隊ノ伺候ス  
吏施

只五ヶ年ニテ首尾官女陣地ヲ一官軍市赤田町陣地ニ移轉ス  
別官部事務吏施ノ外陣地ノ補備増強ニ努ム

八月八日師團及勢準備將兵ノ志氣加盛ス  
二月三十一日西尾町山城ニ向テ後退轉進ノ爲首尾市赤田町陣地

ヲ出發ス

0690  
0724



山管理呢

二十二年二月現地防衛召集者ニヨリ名大政田ヨリ名ヲ任現部へ  
配属的三十名ヲ兵部新入配属ノ成去名対レ防衛業務ヲ実施ス  
ノ外教育訓練ヲ実施ス

中音首里ヲ支所運轉地既スレテモ以テ赤田町庫之成或ニ主方ヲ  
傾出セリ

八二〇下旬防給呢任務終了後復歸セシム以テ首里ヲ赤田町配  
属シ着差給養ヲ担任セリ

二三〇年三月博勢ニレ機動部隊ヲ存セ敵ヲ大空襲ニ使テテリ  
我軍約八敵ノ侵攻のヨリテ甲師戦備下今ニテ晝夜兼行被  
服種様其他司令部所有物品ヲ格納シ未田町ニ実施シ首里支所  
ヲ其移轉ヲ青平ニテ完了ス

0725 ~~0000~~

亦予、新編準備之戦斗開始後、給養計劃に基き各部隊、  
 着目給養ヲ担任ス。昔年、日予備被服及各地に交付戦車  
 備置地より期々物資調辨現ヲ備成シ主力ヲ野果類、調辨  
 三重矣。指回シ同屋由生活対スルヨリタシク致之、補給道途ナク  
 期シ長期持久給養ヲ定メ  
 (昔年昔年某隊部、赤田町被服隊と軍醫部獣醫部ヲ首置キ  
 女陣地ニ支授シ現切給養ス  
 下某隊部各部隊より差生兵力ヲ統一指揮シ部内陣地ニ補強ニ努ム  
 十月中旬より各隊、初動頻繁トシ為近境患者存所回復師  
 軍醫ニ考メ患者、着目給養ヲ担任スルノ外戦況益々進展各各  
 傷病者数増發、各一部部内救護現ニ任せ各患者、給養準備  
 予、昔年初旬三兵隊配属中、作井中隊、一隊ヲ配属シタリ

0726 6884

陣地内ニ作テテ美地ニ青平日ニ見成シ待テ方架ノ貫徹ニ遠  
又青平日軍令ニ基テ師團ハ島尻部ニ成ニ後運配備ニ事トナリ  
既尾大尉ノ遺棄將校ニ同時方区又各新配リ差出兵力ヲ以テ約  
吾名ノ輸送隊ヲ編成シ種林ノ輸送ヲ美地

青平日ノ師團ハ首尾ニ美地ニ向テ前進マ

#### 4. 兵隊部

小三平三言ニ據テ連合ノ爆撃開始シ四月一日敵上陸シ且ニ進次速  
度ニ伴ヒ四月初旬ヲ集積彈藥ヲ首尾附近ニ撤収ス  
四月月初旬間戦傷ノ重傷者兵隊彈藥ノ急運救出務ニ之ヲ受  
領シ部下各部隊ニ補給輸送ヲ美地ニ  
八月廿四日軍令ニ基テ島尻部ニ成ニ師團ハ後運配備ニ事トナリ  
之方偵察ノ各道又中尉ヲ差遣運搬隊ヲ美地ニ

0727 0895

三月二十日午時首尾を渡山成に向

奔二十人日道又中尉偵察準備を陣地入り百里を兵巻撃素ヲ

獲通し且ツ兵巻撃素ノ收集補給ニ務ム

六 經理部

三月二十日午時頭ヨリ田中中尉以下八頭地区木枝伏探隊並ニ物資

細辨現ハ杯伍長一名ヲ畑中伏探隊残置シ全員經理部復帰シ

部長ノ掌握下ニ入ル

口首下自状況ノ切迫ニ伴フニ昼夜兼行洞窟ノ整備集積品ノ整理

ヲ実施シ爾後ノ補給ヲ全ク断ジ概テ未タ完成シタルヲ以テ各隊

ヲ未部ニシテ作業兵ハ部ヲ残置シ各隊復帰セシム

三月二十日午後同ヲ利シ宜野灣陣地前方ニ在ル神山集積所ノ集積

種ヲ鋸重隊ノ協力ヲ以テ

0728 0000

米 五〇〇〇桐中 三五〇〇桐

粳 二五〇桐中 一五〇桐

後送残金ハ敵状急迫シ慌却處分ス

三四月十日貨物廠より地下足袋被甲コロックノ補給ヲ受テ防毒

夜向行動用地下足袋洞窟内作業用コロックヲ整備補足シ部隊

補給ス

亦分任皇造里量治中尉兵團各部隊前後資金ノ込込整理ヲ為ス

手三條經理部ヲ送付ス

四月月中旬至リ各部隊ノ消費ニ糧秣ノ補給増大シ来リ且ツ戦隊

ノ運搬ニ伴ヒ補給益々至難ノ状態トナルモ彈丸凶飛ノ中万難ヲ

排シテ補給ヲ見達セリ

ト山兵團補給車正面前進ニ対シ一部ノ糧秣ヲ之補給ス

6887

0729

六月廿初旬貨田廠より乾パンを以て相補給す。更々田中中尉勲務  
砲ヲ指揮三日間、其ノ臂力激進ヲ以テ之ヲ輸送ス。

田中中尉遂ニ壯烈ナル戦死ヲ遂ゲ

リ。前田殿野戦倉庫ハ多ク一線ト化シタルヲ以テ四月廿三日、五日ノ三夜連

續暢直隊及才十九飛行場設置隊、車輛部隊ノ協力ヲ以テ首尾

（後述）五月二日、福永中尉以下首尾経泥部へ復歸シ、部隊長ヲ指揮ス

ル。五月二日、首尾撤退シ山城へ後退シ山城へ経泥部ヲ示須、福地伊

原ニ各集積所ヲ開設シ糧秣ヲ補給ス。

當夜、千原旅團、松浪江坂旅團及才二十師團ノ中間、轉進ス。

伊集積所ヲ閉鎖シ山城へ轉進ス。

六月、軍醫部

六月廿五日、幕僚部、田中中尉陣地へ移轉ス。及テ軍醫部、幕僚部戦

0630

0730

斗指揮より、首里中女陣火二陣地を被溺後陣地を補備増強務  
口僅に脱脱了現長ヲ受テ救医部ト共ニ給養ヲ莫クス  
八衛士林園ヲ左ノ如ク同被傷者ノ收容ニ任セシム

2. 野戦病院本部

首里市東側

文一平部(附電)

中頭郡附原

文二平部(件内)

中頭郡浦添村件内

文三平部(職名)

島尻郡識名

本防疫給水班

主力

首里市赤田町

一部

首里市儀保町

C. 患者輸送隊

各隊防衛員兼海軍本部部隊ノ配属了了名兵員ヲ以テ

0731 6636

者輸送隊ノ編成シテ了レ傷者ノ後送是也

二青月中旬補厚仲間朱軍ノ奪取ス所トテ後方積用ヲ武島大防  
波振附近ニ後送シ即戦病院全郭ノ集結ス

三月初旬為反部ヲ須得車附近ニ集結セシム

ス防波給水機

トキ下シテ秋獲現了編成シ戦斗司令所ト行動ス共ニ戦斗司令所ノ秋  
獲ニ任外戦斗司令所ノ兵長部ノ陸況初軍需部ノ秋獲部  
況員ノ分派シ傷病兵ノ收容防疫給水ニ任シタリ

四月初旬一般ノ情勢漸ク不利トテリ前線ノ兵力減耗スヲ以テ野戦  
病院ヨリ配属セラレシ衛生兵及歩兵大隊ヨリ配属中大部兵力ヲ原所  
ニ後送セシム

八月中旬日戦斗司令所ト共ニ山城ニ後退ス青島ヲ凍水器之一

0732 0040



概フ以テ一部ヲ偵察シ先遣隊ニ同行セシメテ

八敷醫部

小三月三日幕僚部ノ赤田所陣地ニ轉移スニ伴ヒ軍醫部ト共ニ  
里中ノ陣地ニ移轉ス爾後軍醫部ト共ニ宿營給養ヲ實施ス  
只三月五日戦斗司令所ト共ニ高尾郡山城ニ向テ後進前進セリ

山城後退ヨリノ碎ニ至ル状況 (自五月十五日)

戦況益々不利ノ態ニ勢ニテ一軍ハ右後退シ左後退團左方ニ退却  
ヲ以テ陸正面ノ大ニ線トシテ右後退團ヲ善後武野東面西面  
ニ防衛ス和沖砲台為最南端ノ戦線ヲ集約ス所トナリ  
五月十五日夕無方三三大隊ヲ以テ後衛多クシテ首尾ニ費途中  
無方才シテ最團ノ退却攻撃ヲ指導スル山城ニ向テ後退ス山城ニ在

0844

0733

リテ戦斗ヲ指導ス各部隊ノ行動次ノ如シ

人參謀部

一 五月三十一日又首尾ニ渡洋嘉山ニ至リ戦斗ヲ指揮ス

先遣參謀楠瀬少佐戦死ノ報アリ名ヲ以テ却附將校等ヨリ射ヲ先

遣ニ爾後ノ戦斗ヲ準備セシム

四 五月二十八日四時洋嘉山到着シ先車經理部洞窟ニ至テ戦斗ヲ指揮ス

八 五月二十九日午一時洋嘉山ニ渡東風原山兵團防除陣地ニ五月三十一日

時到着戦斗ヲ指導ス三十一日晝間敵機ノ猛襲撃ヲ受ク

二 五月三十日三時四時東風原ニ渡新成ニ向テ

五月三十一日三時新成到着戦斗ヲ指揮

五月一日新成生叢山城ニ向テ五月二日三時山城ニ到着戦斗ヲ今折向

親シ部隊ノ整備ヲ行テ

0734 0642

小島、陸正而、戦況急ヲワケルニ及ビ歩兵第六十旅團ヲ率テ  
團長徳混混旅團、中用ニ前進セシメ此ヲ以テ戦況ヲ指揮中徳混  
混旅團正而又戦況急テ了ルヲ以テ徳混混ニ於テ團長ヲ用テ前進  
セシメ所トシ

八章、戰鬥司令所、前進ヲ命ゼラレ、管理現況形ヲ射ヲシテ  
復察ヲ莫クシテ、外連絡將校トシテ、副官原中佐ヲ奉  
又仁テレ、戰鬥司令所、新ラシメ、状況其他ニ因リ連絡ス  
ト戦況ニ益シ我ニ利アラズ、命令急テ、依リ、三月十八日、平江野  
團長藤岡中將、戰鬥指揮、最少ノ要員ヲ別具シ、未續、附、女、隊、隊  
ヲ突破シテ、摩又仁、戰鬥司令所、位置、而、前進ス  
山、敵ニ、各部、砲、残、留、者、及、各部、ヲ、无、シ、戰鬥、司令所、集、結、シ、向、所、  
アリ、其、之、兵、隊、長、全、不、少、佐、官、副、官、原、中、佐、帰、着、途、中、休、衛、隊、長

0735 0843

八次ノ各都大所定ノ之兵隊 連兵隊ヲ以テ山城防衛隊ヲ結成ス  
 此ノ月十九日午前 敵軍ニテ山城防衛隊トシテ連兵交戦シテ是ノ後  
 連兵絶戦況益々不利ナリ 二十日 傷勢ニ敵軍攻撃ヲ受ケテ幸  
 都下対シ全員断トシテ今モ在ル  
 青三平 師團長 参謀長 参謀 松方 文平 二旅團長 相續々 壯烈ニ  
 戦死ヲ遂ゲル  
 六別官部(食糧管理班)  
 小青三平 師團長 戰鬥司令 折原 要員ヲ除ク 全員ヲ尾形少尉ニ指揮シ  
 文山城ニ向テ前進セシム  
 青三平 八日夕 尾形少尉以下 管理班 要員ヲ食糧 全員 逃命 到着  
 小青三平 八日夕 到着 各都 班 全兵力ヲ指揮シ 亦 芝 師團 歩兵  
 及 三上 聯隊 大 大隊 陣地ヲ 補給 増強シ 戰鬥 司令 折原 要員 撤

0844

0736

十ヶ所之準備又

常時、配属状況別に要員を配し

八陣地、補強、外物資調辨状況種々輸送状況を編み

後退、為物資最不足状況に於ては、以て調辨状況に於て物資を

集積し、一在りしとて敢て戦力化を努力す

又輸送状況に於ては、師團より種々種々復々、武島新垣方面、集

積種々各集積地へ後退す

二二日、陣地を完成す

二二日、戦斗司令所に到着す

山兵隊新

二二日、師團戦斗司令所に到着す、其後、武村東山、石井

二二日、山兵隊新用設、各部隊へ補給、準備、及、其陣地を

0737 0045

備之努力ナ

只前千日午後戰事ヲ伴フ敵兵約千リ陣地前面ニ出現ス  
日波迄交戦シ敵後退シテ以テ司令部主力名元戦斗司令  
所山城ノ陣地ニ集結師團殘兵主カト合シ防衛ノ強化ニ努メタリ  
ハ兵器部長ハ兵力ヲ 敵陣ヲ突破シ山脈殘兵ニ師團主  
力ニ合流中敵陣ニ依リ此烈ニ戰死ヲ遂ゲ

ハ経況部

小五月三十日司令部ト共ニ首尾撤退山城ニ経況部ヲ不須補  
伊原ニ集積所ヲ開設糧秣ノ補給ニ任ス

山月入リテ伊原集積所ヲ閉鎖山城ヲ移転ス

當時ノ状況將兵被勞甚ニ極ニ連日夕絶對優勢ヲ確據  
下行動後遂糧秣意ヲ和ラテ又ニ為ニ美ニ僅少ナリ

0738 0048

山兵團より若干ノ補給ヲ受ケ先ニ後送ル種株ト令シ幸ウシテ  
補給ヲ實施スルニ各部隊ノ要求ヲ充スニ莫ニ僅クナルモテアツタ  
口筆貨物廠より中森少尉以下下士官三名配属シ部員ヲ強化  
サレモ種株ノ蒐集意ヲ妨グナラス

八月十日困難ナル状況ノ下経理部長ノ下全員團結シ兵團経理ヲ  
支障ナク遂行セル儀ト師團長より賞詞ヲ授ケセラル

三月十日末須集積所長菊地中尉以下所在部下ト共ニ全員  
斬込ヲ敢行セリ

三月十日福地集積所閉鎖シ笹少尉以下全員最後斬込ヲ敢行シ  
八月三日山城ニシテ経理部長以下全員最後斬込ヲ敢行セリ

小倉醫部(合ニ防疫給水班)

八月三日山城ニシテ戦斗中斬込ニシテ山城ニ後送シ山城ニ在リテ衛生業

0739 6647

務ニ從事ス

八月十八日 戦斗司令所 藤久仁ニ伝達スルニ元戦斗司令所 所長  
集結 残存者 相圍結スルニ兵隊長 金不才 佐 指揮スル戦斗

某地

八月廿日 好備陣地ニ平章 来襲スルヲ以テ 金力ヲ拵テ 交戦スル時

敵ヲ撃退 戦死 西山 伍長 瀬古 兵長 田中 上等兵

八月廿日 拂曉 戦車五輛ヲ伴フ 敵歩兵約五百ハ 上里 方向ヲ集

撃スルニ 岩 彈 藥ノ 射 耗 甚 多ク 衆 寡 敵 之 如 何トモナシ 難ク 二 日

平 日 都 長 以 下 全 員 斬 込 ヲ 敢 行 ス

6. 獸 醫 部

八月廿日 戦斗司令所ト共ニ山城ニ 馳 進 音 平 介 山 城 到 着

八月廿日 元 戦斗司令所 陣地ニ 命 金 不 才 佐 指 揮 入 山 城 防 衛

0740 0848



任

百二十員新長以下全員麻中へ斬込ヲ敢行セリ

山城ニ於テル戰鬥狀況

小百二十員藤岡新團長戰鬥指揮ニ最ムク要員ヲ引其ニテ奮死  
ニ戰鬥司令所ヲ前進シ殘留各部助ハ元ノ戰鬥司令所ノ位置ニ  
兵ヲ集約シ之兵隊長全少佐ノ指揮ニ依リ陣地ヲ補備増強務

メニ所

守ヲ奮然トシテ向テ戰鬥ヲ伴フ敵兵約千餘人攻撃シテ其一部  
的ニノ歩兵十五騎交還シ奉リ予是ノ如ク陣地ニ着テ激戰奮斗ス大  
ノ戦果ヲ奏スルニ克ク之ニテラ擊退ス

百二十員拂場ニ向テ向テ戰鬥ヲ伴フ敵兵約千餘人攻撃シテ其一部

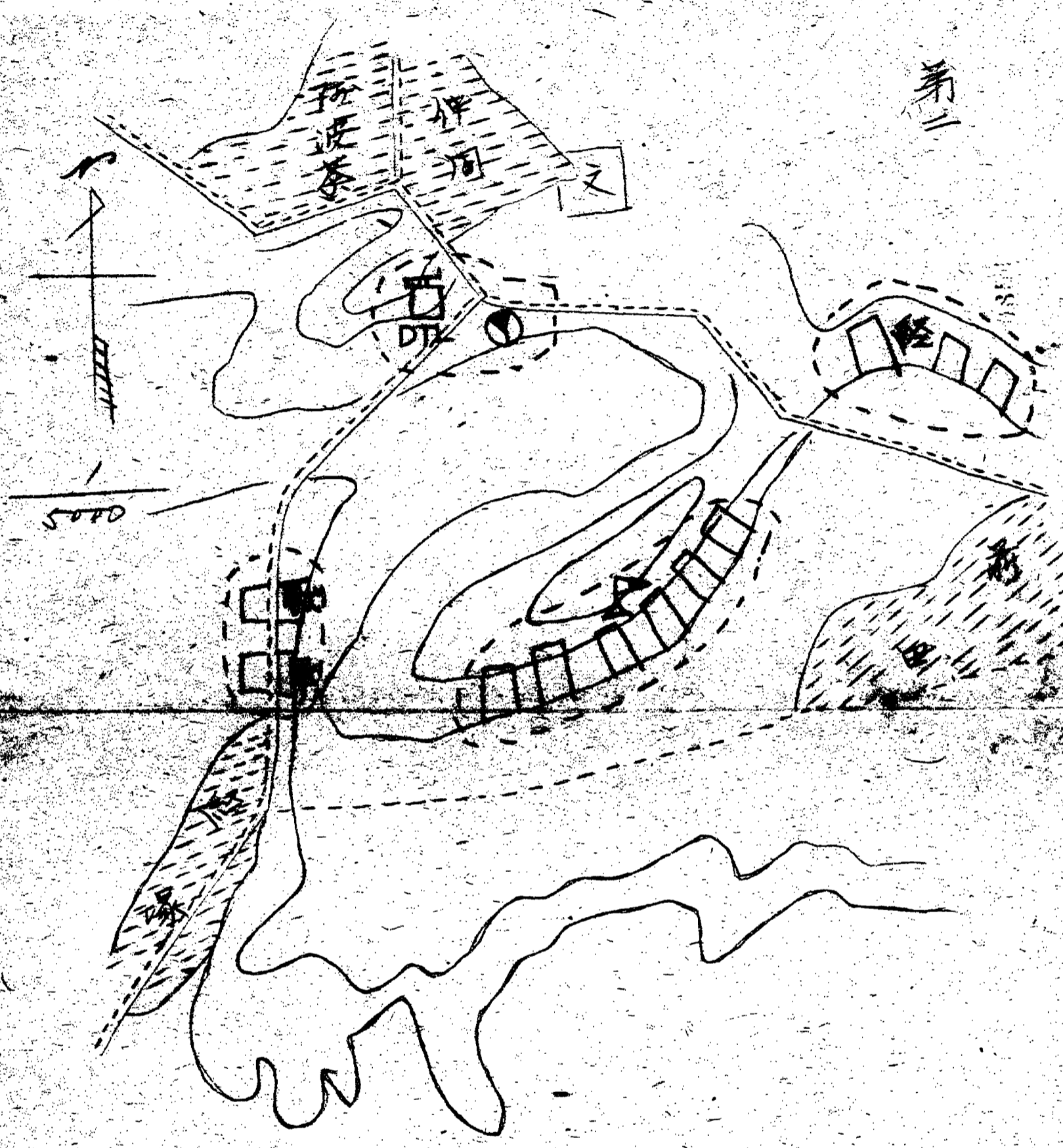
0741 0040

軍實枚放之、状況三ノ一且ツ大砲敵射ハ、洞窟及野外陣地ヲ分  
断シテ、由地撃テハ急遽果敢ヲ記大敵戦ヲ突入スル大砲放  
射依リ相次々此烈百戦死ヲ遂テ  
陣地付テ了我が兵部隊力大砲中入リ大敵ヲ死シテ陣地大敵  
ヲ焼盡テル所ナリ、指揮員全不仕人戦員兵力ヲ各都院復  
歸セシメ各都長、指揮下ニ入リ、官軍各都至テ前陣敵中ニ討  
全員の多取行テリ

07420050

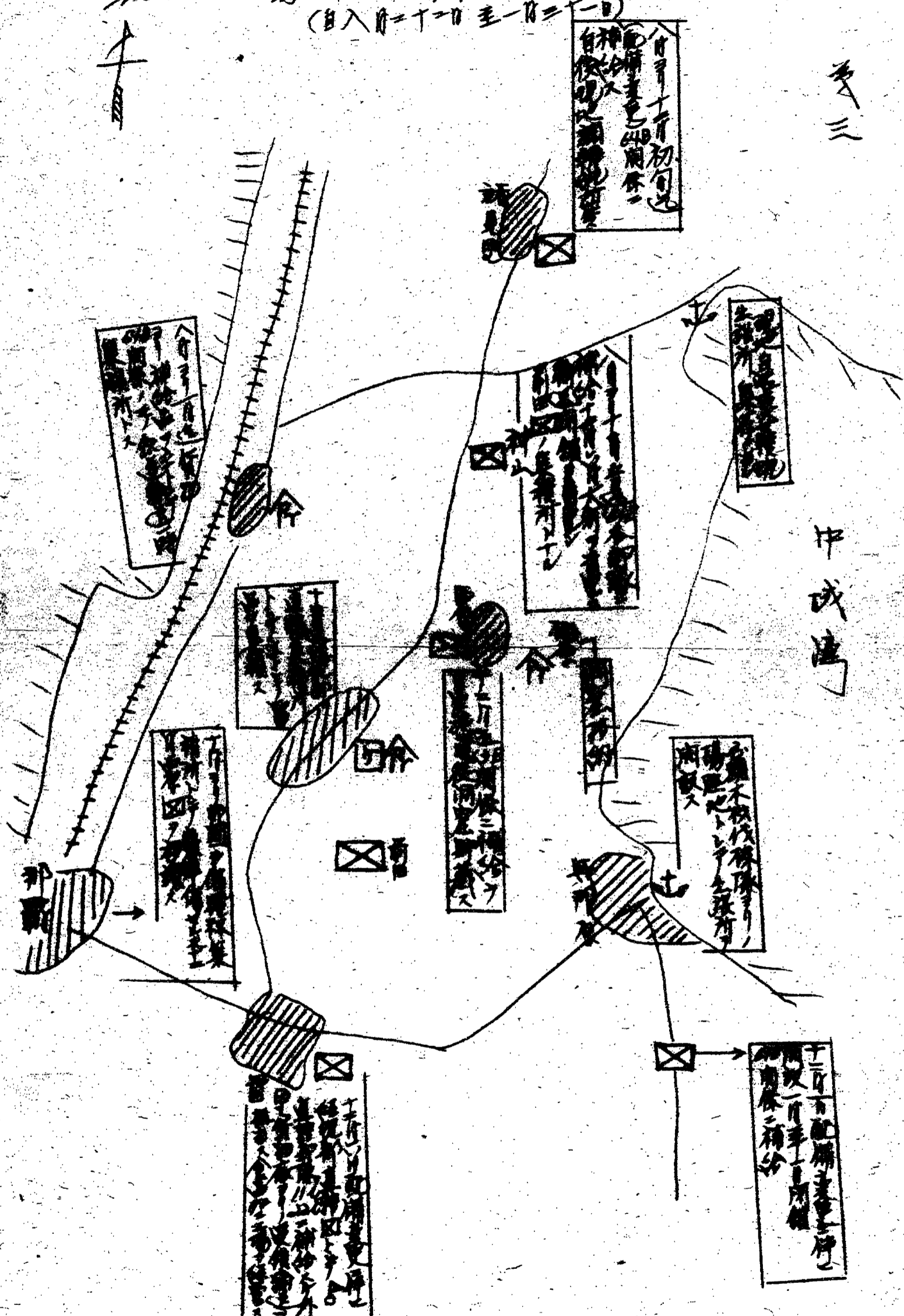


第十一師團司令部所在地配備要図



0744 0000

第六十一節 國權給條統要図  
 (自入月=十=日 至=月=十一=日)



三

0656  
0745

中成海

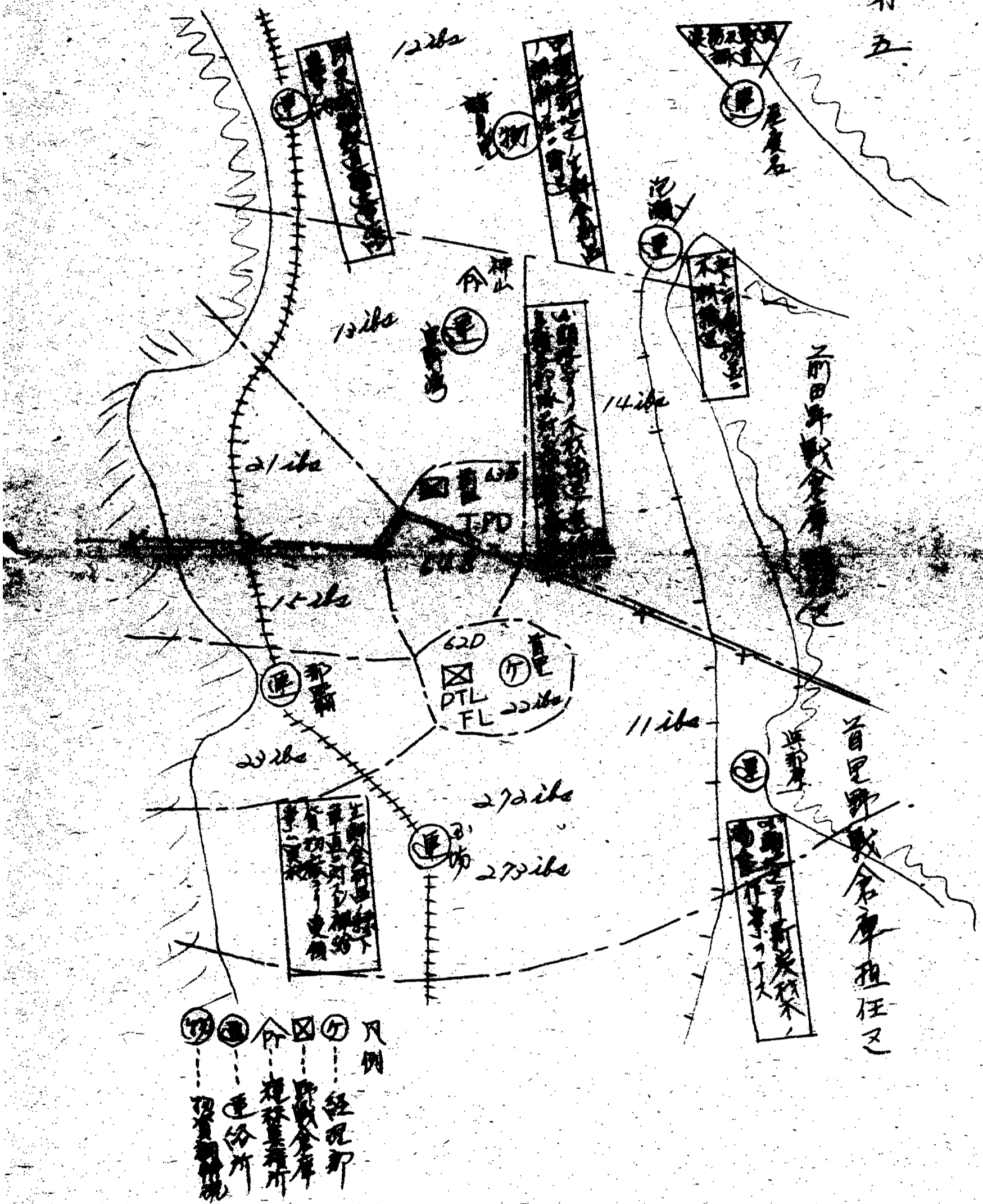




第七十=節 關東五國新橋始末地圖  
(自一月一日~至三月十日)

第五

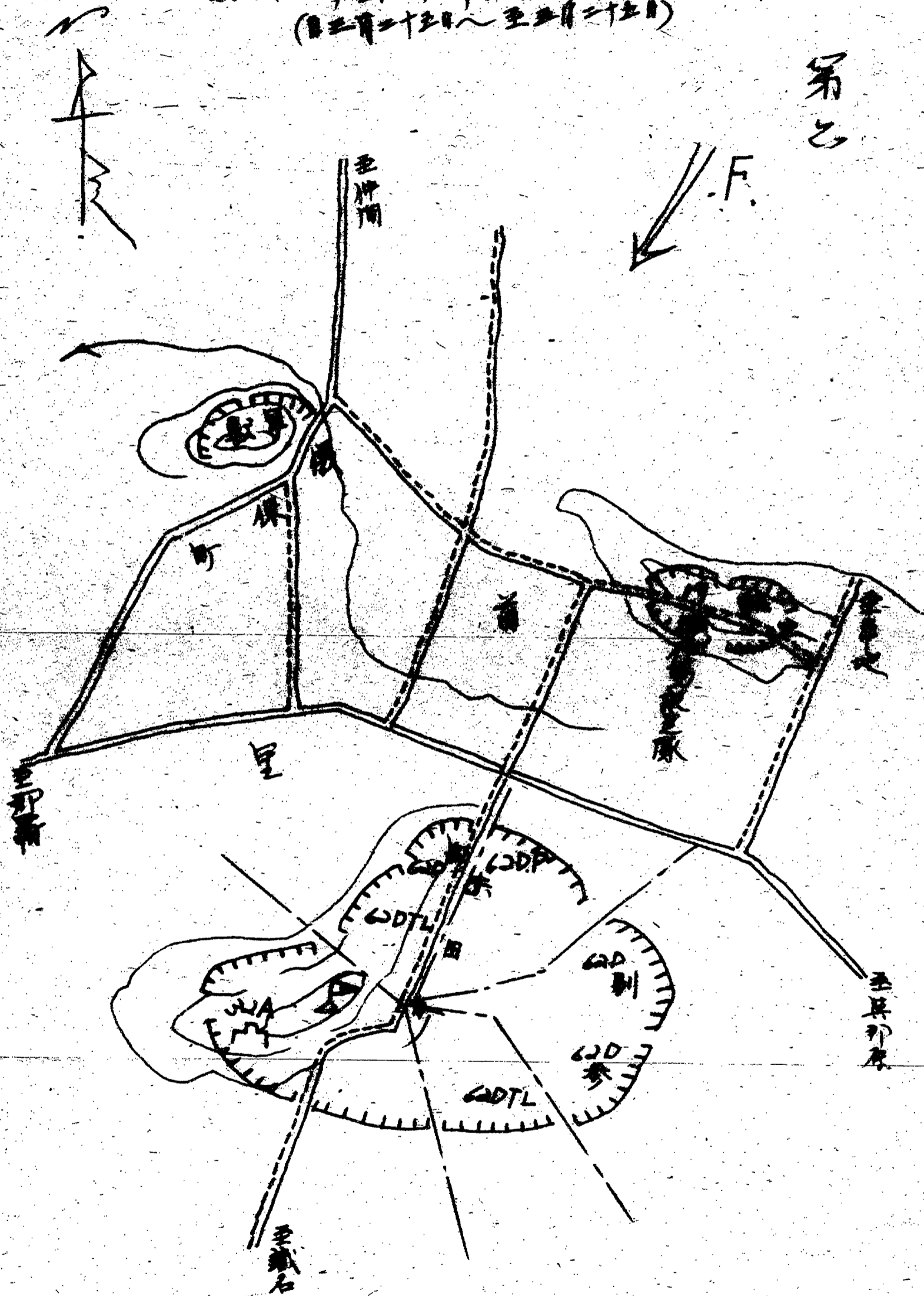
0747



第十卷之新圖司今新首里降比配構要図  
 (自三月二十日～至五月二十五日)

0748 6656

第乙





兵務部 勤務 (中尉 久惠)	令 管理班 (少尉 尾形忠義)	副官部 (少尉 吉武清)	令 暗號係 (少尉 鈴木敬一)	參謀部 作戦係 (少尉 吉野慶三)	司令部 勤務	令 見 原田 徹	令 部員 中尉 齊藤幸雄 少尉 安本牧男	獸醫部 部長 中尉 吉田憲男 少尉 南 昇	令 衛生 少尉 飯塚良吉	令 中尉 吉村 正 少尉 須田秀弥	令 中尉 山崎邦夫 少尉 飯川	令 中尉 橋本 郁 少尉 和手	軍醫部 部員 中尉 鶴田義虎 少尉 鈴木
							獸醫部 勤務 (中尉 齊藤幸雄)	軍醫部 勤務 (中尉 吉田憲男)	衛生部 勤務 (少尉 飯塚良吉)	經理部 勤務 (少尉 吉村 正)			兵務部 勤務 (少尉 鶴田義虎)
													陸軍

8280

0650

0057

0749



第六十二師團司令部編成職員表												陸軍			
師團長	中將	藤岡武雄	副官	中佐	原研介	參謀長	大佐	上野貞臣	參謀	中佐	北島之等之		副官	中將	藤岡武雄
左	少佐	楠瀬勲	左	少佐	藤原實治	左	少佐	久住竹治	左	少佐	杉本忠雄	左	少佐	久住竹治	杉本忠雄
參謀	中佐	北島之等之	左	少佐	藤原實治	左	少佐	久住竹治	左	少佐	杉本忠雄	左	少佐	久住竹治	杉本忠雄
副官	中佐	原研介	左	少佐	藤原實治	左	少佐	久住竹治	左	少佐	杉本忠雄	左	少佐	久住竹治	杉本忠雄
師團司令部	中佐	原研介	左	少佐	藤原實治	左	少佐	久住竹治	左	少佐	杉本忠雄	左	少佐	久住竹治	杉本忠雄
參謀部教育部長	大尉	前川武義	左	中尉	菊地善夫	左	中尉	福永純一	左	中尉	福永純一	左	中尉	福永純一	福永純一
通信係	中尉	河村盛夫	左	中尉	福永純一	左	中尉	福永純一	左	中尉	福永純一	左	中尉	福永純一	福永純一
情報係	中尉	梅原保惠	左	中尉	小笹俊夫	左	中尉	小笹俊夫	左	中尉	小笹俊夫	左	中尉	小笹俊夫	小笹俊夫
後方係	少尉	鴛田稔	左	少尉	土屋清	左	少尉	土屋清	左	少尉	土屋清	左	少尉	土屋清	土屋清
防衛教育係	少尉	岩前圭吾	左	少尉	高向正二	左	少尉	高向正二	左	少尉	高向正二	左	少尉	高向正二	高向正二
副官部	少尉	大橋清衣	左	少尉	伊海海一	左	少尉	伊海海一	左	少尉	伊海海一	左	少尉	伊海海一	伊海海一
管理班主任	大尉	梶尾茂市	左	大尉	梶尾茂市	左	大尉	梶尾茂市	左	大尉	梶尾茂市	左	大尉	梶尾茂市	梶尾茂市

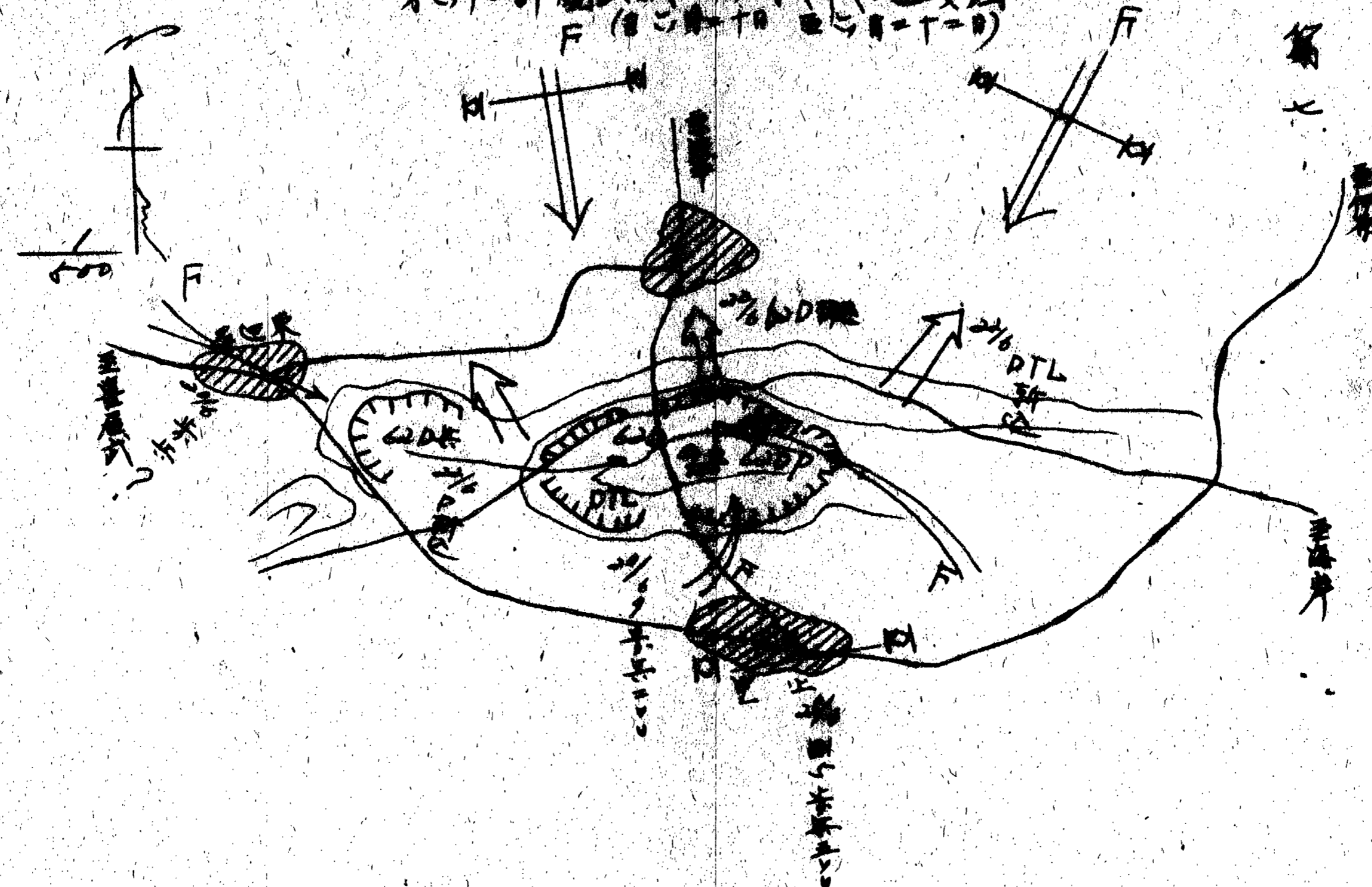
0080  
0050

0859  
0751



才心十=部圖山城一其江戦計(後通安図)

F (8 心 部 十 部 心 部 十 部)



0753 0864